



1 アンケート実施概要

対象者 : 18歳以上の方

対象地区 : 市営水道区域 (八幡、桑原地区)
県営水道区域 (上記以外)

対象人数 : 各区域から1,000人ずつ
合計2,000人を無作為抽出

期間 : 令和4年12月9日から令和5年1月20日

市営水道区域 : アンケート回答数 **345**件
(統計学的信頼度**94%**)

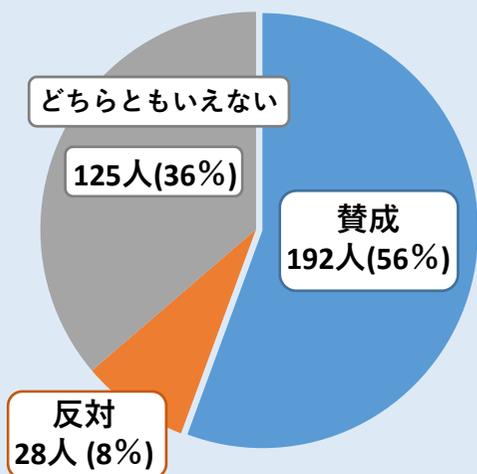
県営水道区域 : アンケート回答数 **292**件
(統計学的信頼度**91%**)

※信頼度は許容誤差±5% (令和5年1月31日時点)

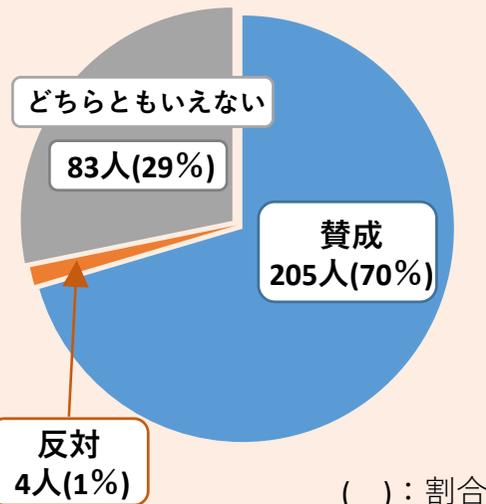
2 アンケート調査結果(抜粋)

1. 水道事業の広域化に対する認識

市営水道区域



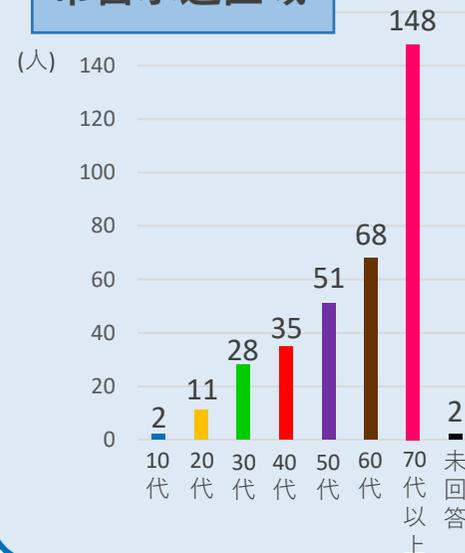
県営水道区域



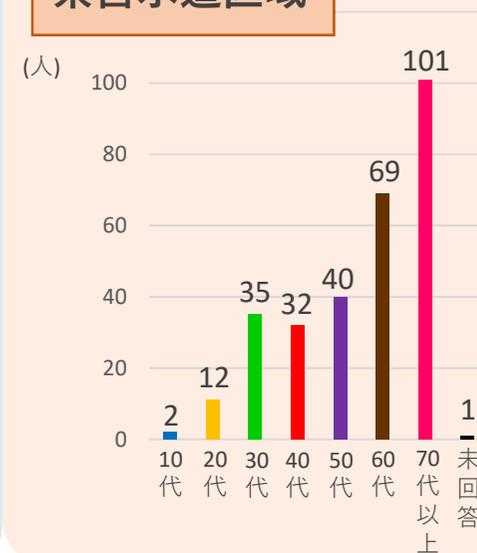
・市営水道区域で**賛成56%**、県営水道区域で**賛成70%**と両方の区域で**半数以上が賛成**という結果になりました。

2. 回答者の年代

市営水道区域



県営水道区域



・市営水道区域、県営水道区域とともにアンケートに回答いただいた方は**50代以上の方が全体の7割以上**占めるという結果になりました。



3. 水道事業の広域化に対する主な意見

市営水道区域

[賛成理由]

- ◎ **水道料金の上昇を抑制できるから。(同様意見33名)** ・災害時の供給、対応。
 ・経営が悪化すると思われたから。 ・安心安全の水の供給ができる。
 ・広域化で最大なメリットを利用してほしい。 ・水道料金の値上がりは困る。
 ・将来、水を安定的に供給出来るようにしてほしい。

[反対理由]

- ◎ **美味しい水が飲みたい。生まれた時からの水を飲みたい。(同様意見7名)**
 ・事業を統一しても、各支部で管理する必要が生じると考えるため。
 ・メリットにメリットを感じない。 ・水質が悪くなる事が不安。
 ・八幡浄水場、本郷浄水場の廃止に反対。

[どちらでもない理由]

- ・メリット・デメリットが分かりにくい。 ・水の安定供給に問題はないのか。
 ・地域によっては異なるのでどちらとも言えない。
 ・今後の状況をみながら理解していきたい。
 ・料金が高くならず、安くなるなら良い。ただ、災害時などすぐに対応してもらえないか心配。

(◎印は特に件数が多かった意見)

県営水道区域

[賛成理由]

- ◎ **水道料金の上昇を抑制できるから。(同様意見31名)**
 ・メリットとデメリットを比べると広域化によるメリットの方が大きいため。
 ・国の補助金を活用して、施設整備ができる。 ・管理運営の均一化。
 ・広域化して人材の確保。 ・人口の減少のため仕方ない。
 ・事業統合での料金水準を維持。 ・将来を考えて水道事業が必要。

[反対理由]

- ・広域化すると現在より状況が悪くなる。(農協と同じ)
 ・細やかな対応が出来なくなるかもという不安。

[どちらでもない理由]

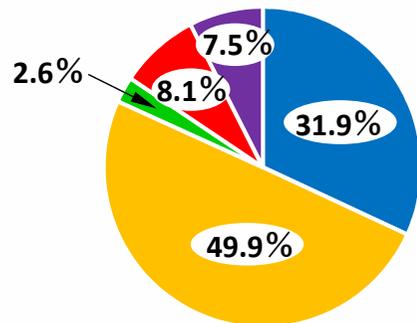
- ・メリットもありデメリットもある為。
 ・具体的によくわからないから。
 ・利用者の立場からすると安くて安全な物を望みます。
 ・サービス低下に繋がらないか。

(◎印は特に件数が多かった意見)

4. 水道事業について、一番望むこと

市営水道区域

- 料金を安く抑えること 110人
- 安定供給されること (災害時応急給水体制を含む) 172人
- 運営組織・窓口が身近にあること 9人
- 広域化せず現状のまま事業を継続 28人
- その他 26人

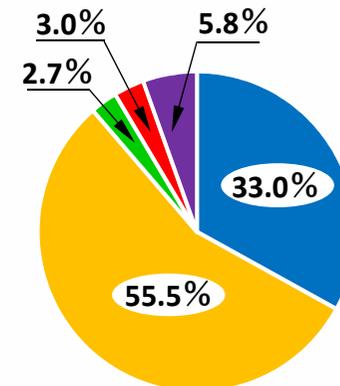


[その他意見]

- ・おいしい安全な水が供給されること。 ・将来を見据えた事業計画である事。

県営水道区域

- 料金を安く抑えること 96人
- 安定供給されること (災害時応急給水体制を含む) 162人
- 運営組織・窓口が身近にあること 8人
- 広域化せず現状のまま事業を継続 9人
- その他 17人



[その他意見]

- ・民間にやらせないこと。 ・安全な水の供給を考えてほしい。水道料金についても。